

事業シート（概要説明書）

事業名	共同バス運行事業 (津山・西川線共同バス)		担当部名	産業経済部		
			担当課名	産業政策課		
事業年度	開始年度：平成15年度		終了年度：			
総合計画での位置付け	安全な暮らしと都市基盤の整備 都市を支える交通体系づくり 公共交通の充実 地域公共交通網の整備促進					
根拠法令等	津山・西川線共同バス運行に関する事務の委託に関する規約					
実施方法	直接実施	委託	指定管理	補助金	その他	
	実施主体・委託先等		津山・西川線共同バス運行対策協議会			
事業概要	目的 (何のために)	津山市・美咲町間住民の生活交通を確保し、利便性を図るため。				
	対象 (誰・何を対象に)	津山・西川線共同バス運行事業				
	事業内容 (手段、手法など)	上記目的のために運行されている『津山・西川線共同バス』への距離按分による運行委託料負担				
	事業の必要性	美咲町旭地域と津山市を結ぶ公共交通であり、津山市地域公共交通総合連携計画において久米地域南部をカバーする幹線路線として位置づけられている。				
		(円)	H20決算	H21決算	H22決算	H23予算
事業費	報酬(嘱託・臨時職員含む)					
	賃金					
	報償費					
	旅費					
	需用費					
	役務費					
	委託料	4,500,000	3,991,000	4,935,000	4,870,000	
	負担金、補助及び交付金					
	扶助費					
	その他(使用料、工事費等)					
合計	4,500,000	3,991,000	4,935,000	4,870,000		
事業費の財源内訳	国・県からの補助金等					
	地方債					
	その他(広告収入等)					
	一般財源	4,500,000	3,991,000	4,935,000	4,870,000	
合計	4,500,000	3,991,000	4,935,000	4,870,000		
人件費 (正規職員)	従事者数(平均給与750万円換算)	0.01	0.01	0.01	0.01	
	概算人件費	75,000	75,000	75,000	75,000	
総事業費(+)		4,575,000	4,066,000	5,010,000	4,945,000	

事業シート（概要説明書）					
事業目的達成のための活動指標	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	年間バス乗車料(全体)	円	5,014,250	5,192,582	4,800,000
	年間バス乗車人数(全体)	人	24,997	25,043	25,000
単位当りコスト					
目指す成果 (今後どのようにしたいか)	本路線を幹線と位置づけている『津山市地域公共交通総合連携計画』に沿って、他路線との関係を整理する。				
事業の自己評価	事業目的の達成状況	久米地域南部を通る路線として、通学・通院の足としての役割を果たしている。			
	今後の事業の方向性 (課題・改善計画等)	同じ久米地域を通る"ごんご久米線"の見直しがH24年度に予定されており、このことによる人の流れの変化等に対応するとともに、市内における重複路線との整理が必要である。			
自己評価	<p>拡大・充実 現状のまま継続 効率化又は改善が必要 統合・縮小 廃止</p> <p>他のバスが走っていない久米地域南部をカバーしている。 津山市地域公共交通総合連携計画に基づき市内バス路線の見直しを実施しているが、本路線については、計画中で幹線として位置づけている。運行形態等については、今後検討・改善する余地あり。</p>				
特記事項 (事業の沿革等) (他都市との比較等)	美咲町との共同運行であるため、見直し等については調整が必要。				

事業シート（概要説明書）

事業名	共同バス運行事業 (津山・柵原線共同バス)		担当部名	産業経済部		
			担当課名	産業政策課		
事業年度	開始年度：平成18年度		終了年度：			
総合計画での位置付け	安全な暮らしと都市基盤の整備 都市を支える交通体系づくり 公共交通の充実 地域公共交通網の整備促進					
根拠法令等	津山・柵原線共同バス運行に関する事務の委託に関する規約					
実施方法	直接実施	委託	指定管理	補助金	その他	
	実施主体・委託先等		津山・柵原線共同バス運行対策協議会			
事業概要	目的 (何のために)	津山市・美咲町間住民の生活交通を確保し、利便性を図るため。				
	対象 (誰・何を対象に)	津山・柵原線共同バス運行事業				
	事業内容 (手段、手法など)	上記目的のために運行されている『津山・柵原線共同バス』への利用者数按分による運行委託料負担				
	事業の必要性	美咲町柵原地域と津山市を結ぶ公共交通であり、市内においては他路線が通っていない地域をカバーしている。				
		(円)	H20決算	H21決算	H22決算	H23予算
事業費	報酬(嘱託・臨時職員含む)					
	賃金					
	報償費					
	旅費					
	需用費					
	役務費					
	委託料	1,383,000	583,000	1,303,000	1,503,000	
	負担金、補助及び交付金					
	扶助費					
	その他(使用料、工事費等)					
合計	1,383,000	583,000	1,303,000	1,503,000		
事業費の財源内訳	国・県からの補助金等					
	地方債					
	その他(広告収入等)					
	一般財源	1,383,000	583,000	1,303,000	1,503,000	
合計	1,383,000	583,000	1,303,000	1,503,000		
人件費 (正規職員)	従事者数(平均給与750万円換算)	0.01	0.01	0.01	0.01	
	概算人件費	75,000	75,000	75,000	75,000	
総事業費(+)		1,458,000	658,000	1,378,000	1,578,000	

事業シート（概要説明書）					
事業目的達成のための活動指標	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	年間バス乗車料(全体)	円	5,270,488	5,122,397	5,000,000
	年間バス乗車人数(全体)	人	22,745	22,389	22,000
単位当りコスト					
目指す成果 (今後どのようにしたいか)					
		他の路線が走っていない地区をカバーしつつ、他の重複路線との整理を図る。			
事業の自己評価	事業目的の達成状況	市内において、他にバス路線の無い地域を走っており、公共交通機関として一定の役割を果たしている。			
	今後の事業の方向性 (課題・改善計画等)	便数については、一日に3.5往復運行しており、他路線の無い地域を通っているため市民の足として機能している。しかしながら、他路線と重複する部分もあり改善の余地があり。			
自己評価		拡大・充実 現状のまま継続 効率化又は改善が必要 統合・縮小 廃止 現在実施している市内バス路線見直しとの整合性を図る必要がある。			
特記事項 (事業の沿革等) (他都市との比較等)		美咲町との共同運行であるため、見直し等については調整が必要。			

事業シート（概要説明書）

事業名	共同バス運行事業 (津山・富線共同バス)		担当部名	産業経済部		
			担当課名	産業政策課		
事業年度	開始年度：平成14年度		終了年度：			
総合計画での位置付け	安全な暮らしと都市基盤の整備 都市を支える交通体系づくり 公共交通の充実 地域公共交通網の整備促進					
根拠法令等	津山・富線共同バス運行に関する事務の委託に関する規約					
実施方法	直接実施	委託	指定管理	補助金	その他	
	実施主体・委託先等		津山・富線共同バス運行対策協議会			
事業概要	目的 (何のために)	津山市・鏡野町・一部真庭市間住民の生活交通を確保し、利便性を図るため。				
	対象 (誰・何を対象に)	津山・富線共同バス運行事業				
	事業内容 (手段、手法など)	上記目的のために運行されている『津山・富線共同バス』への距離按分による運行委託料負担				
	事業の必要性	鏡野町富地域と津山市内を結ぶ、唯一の公共交通。				
		(円)	H20決算	H21決算	H22決算	H23予算
事業費	報酬(嘱託・臨時職員含む)					
	賃金					
	報償費					
	旅費					
	需用費					
	役務費					
	委託料	735,000	751,000	876,000	943,000	
	負担金、補助及び交付金					
	扶助費					
	その他(使用料、工事費等)					
合計	735,000	751,000	876,000	943,000		
事業費の財源内訳	国・県からの補助金等					
	地方債					
	その他(広告収入等)					
	一般財源	735,000	751,000	876,000	943,000	
合計	735,000	751,000	876,000	943,000		
人件費 (正規職員)	従事者数(平均給与750万円換算)	0.01	0.01	0.01	0.01	
	概算人件費	75,000	75,000	75,000	75,000	
総事業費(+)		810,000	826,000	951,000	1,018,000	

事業シート（概要説明書）					
事業目的達成のための活動指標	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	年間バス乗車料(全体)	円	1,630,253	2,008,945	1,800,000
	年間バス乗車人数(全体)	人	5,804	7,723	7,300
単位当りコスト					
目指す成果 (今後どのようにしたいか)	本路線に対する市内需要に対応したものとする。				
事業の自己評価	事業目的の達成状況	朝に富を出発し、夕方に富に帰る1往復しかないことに加え、津山市内においては、他路線と重複しており市民の利用は極めて少ない状況となっている。			
	今後の事業の方向性 (課題・改善計画等)	一日に一往復しかなく、実質的に本路線のみでの利用は難しい状況である。また、市内において路線が重複する"院庄循環線"、"津山～石越線"、"ごんご久米線"等との関係を整理し、市民の需要に沿った見直しが必要である。			
自己評価	<p>拡大・充実 現状のまま継続 効率化又は改善が必要 統合・縮小 廃止</p> <p>市民利用が難しい状況の中で現在実施している市内バス路線見直しとの整合性を図る必要がある。</p>				
特記事項 (事業の沿革等) (他都市との比較等)	鏡野町、真庭市と共同で運行をしているため、見直し等にあたっては調整が必要である。				